

はじめに

FREESIA の世界へようこそ！

FREESIA は、MacOS と Windows 両方に対応した、初心者向け VJ システムです。

「VJ に興味はあるけど、ソフトウェアにいきなり何万円も払うのは抵抗がある…」

「Win でも Mac でも同じように使えるものが欲しい…」

という方に、FREESIA はぴったりです。

さあ、VJ の世界へようこそ！

用意するもの

まずは FREESIA を使うのに必要なものを用意しましょう。

・ PC (Win か Mac)

OS はどちらでも構いません。

スペックとしては、Win であればある程度新しい外部 GPU を積んだもの、Mac で

あれば外部 GPU を積んだものか、M シリーズの CPU を積んだものを推奨します。

- ・ TouchDesigner

FREESIA を動作させるのに必要な統合環境です。無料版で構いません。

インストール方法が少々煩雑なので、「TouchDesigner インストール」などで検索して手順を確認してください。

- ・ nanoKontrol2

いわゆる MIDI コントローラーです。だいたい 5,000 円くらいで買えます。

わりと VJ 用途でも汎用性のある製品なので、この機会に買っちゃいましょう。

- ・ 外部ディスプレイ

作った映像を出力する先です。

推奨環境

具体的にどのようなスペックの PC がよいか、という点でいうと、FREESIA は下記環境で開発しています。

30FPS 以上出れば、現場でも違和感なく運用できるでしょう。

Mac: MacBook Air 2020 (M1, GPU7Core, RAM8GB) 30FPS くらい

Win: ROG Flow X13 (Ryzen9, RTX3050Ti Mobile, RAM16GB) 45FPS くらい

ThinkPad A285 (Ryzen5, RAM16GB) 20FPS くらい

起動手順

準備も整ったところで、始めましょう。

まずは外部ディスプレイと nanoKontrol2 を PC へ接続しましょう。

その後、下記のページへアクセスして、FREESIA をダウンロードしましょう。

<https://github.com/sunpower92/freesia>

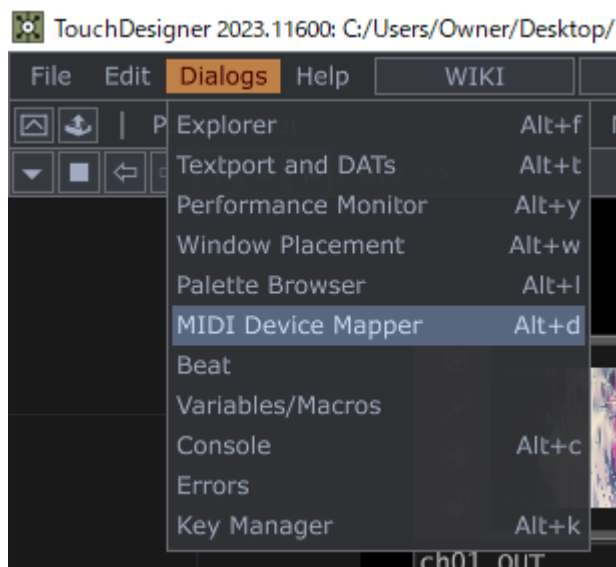
ダウンロードした FREESIA.toe ファイルをダブルクリックで開くと、

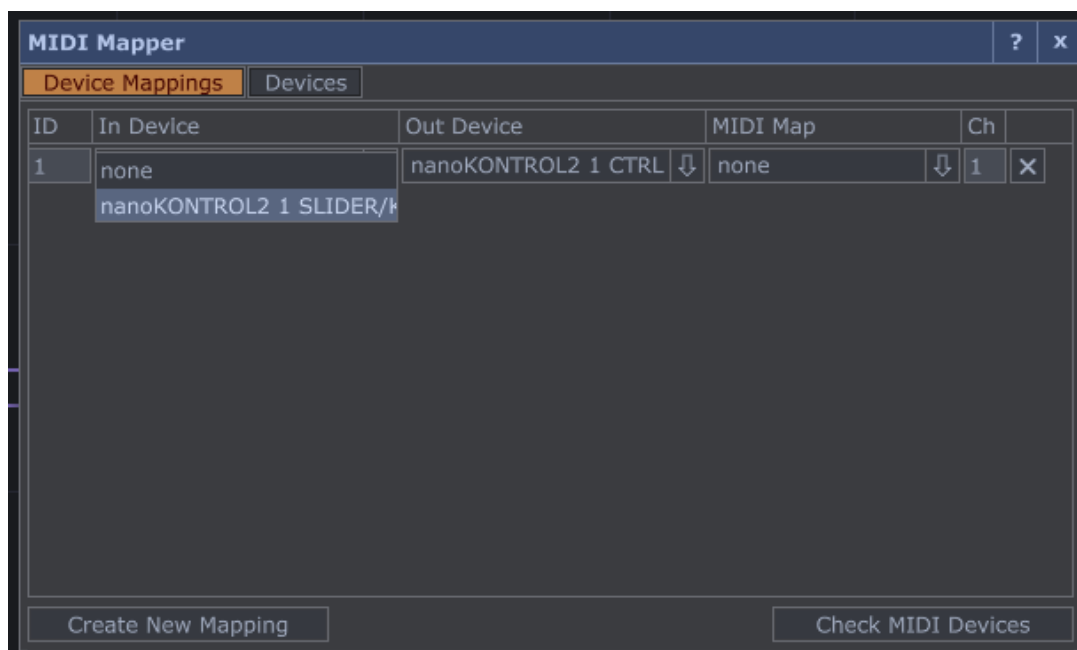
TouchDesigner が起動して、下記のような画面が表示されるはずです。



FREESIA が起動したら、画面上部のメニューバーから Dialogs>MIDI Device

Mapping と進み、下記画面を表示させてください。



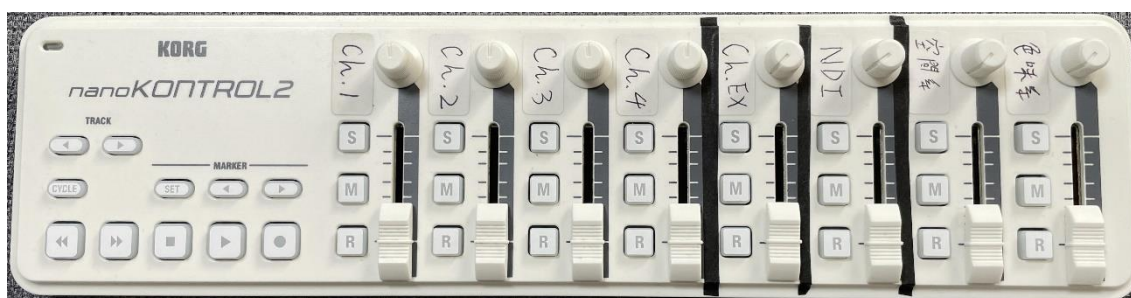


上記のように、プルダウンで「In Device」と「Out Device」の二か所で

nanoKontrol2 を選択し、バツ印でオプションを閉じてください。

nanoKontrol2 のボタン配置

こちらが操作ボタンの配置図です。



左から Ch.1～4、特殊レイヤー、NDI 入力、エフェクト Ch.1～2 としています。



各ボタンにはこのように役割をセットしています。

画面の説明

こちらが FREESIA のメイン画面の構成と各要素の役割です。



出力画面を出そう

では、準備が整ったので、実際に操作をしていきましょう。

メイン画面右下の「window1」モジュールを選択した状態でキーボードの P キーを押すと、オプションが表示されますので、下方にある「Open as Separate Window」をクリックしてください。

外部ディスプレイ側にマスター出力が表示されるはずです。



動画を取り込もう

では、投影する動画や画像を各バンクに取り込んでいきましょう。

ファイルエクスプローラーから任意の動画・画像ファイルを取り込みたい先のバンクの窓にドラッグアンドドロップしてください。

窓のプレビューが取り込んだファイルのものに変わったでしょうか？

これを各バンクにそれぞれ繰り返すことで動画を取り込んでいきます。

ほかのファイルに切り替えたいときも、同様にドラッグアンドドロップすると上書きされます。

動画を出したり出さなかったり早くしたり遅くしたりしよう

Ch.1～4 の各バンクに入った動画は、それぞれのチャンネルのバンク選択ボタンとフェーダーの操作で出たり出なかったりします。

また、それぞれのノブを左右へひねることで再生速度の調整もできますので、かかっている曲の BPM に合わせて調整することもできます。

エフェクトをかけよう

そしてここまでで構成した画面に、「味付け」をしていきましょう。

一番右端の 2 チャンネルが、エフェクトに設定されています。

それぞれのバンク設定ボタンで種類を選択、ノブとフェーダーでかかり具合を調節
できます。

こちらを画面の状況や曲の展開、フロアの雰囲気に合わせて適宜いじってあげると
楽しいです。

DJ 名とかを出そう

メイン画面右上のテキストボックスに任意の文字列を入れるとその内容が特殊レイ
ヤーのバンク 1 に反映されます。



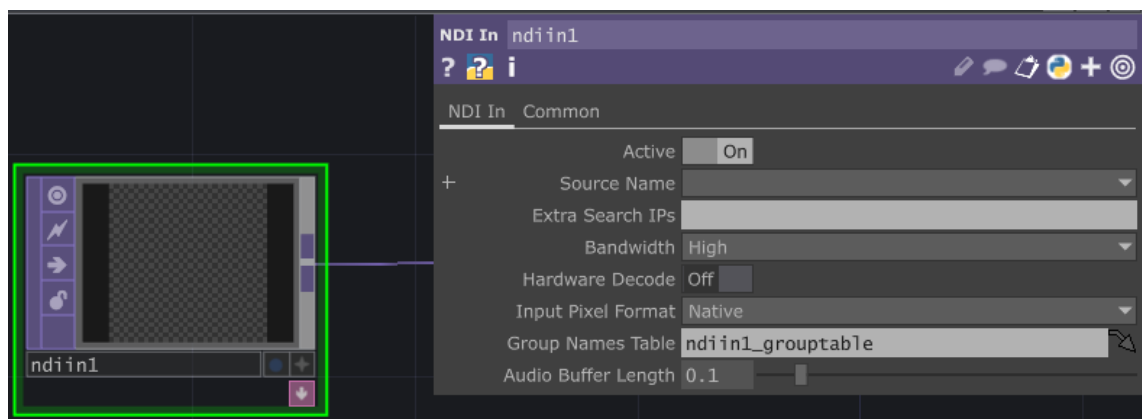
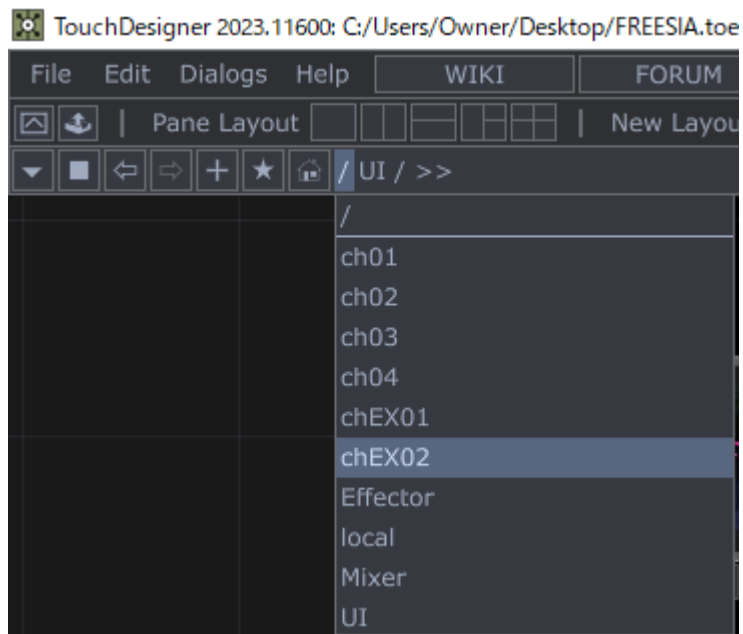
バンク 2 はオシロスコープ、バンク 3 は真っ白な画面です。

それぞれ演出の都合に合わせてご利用ください。

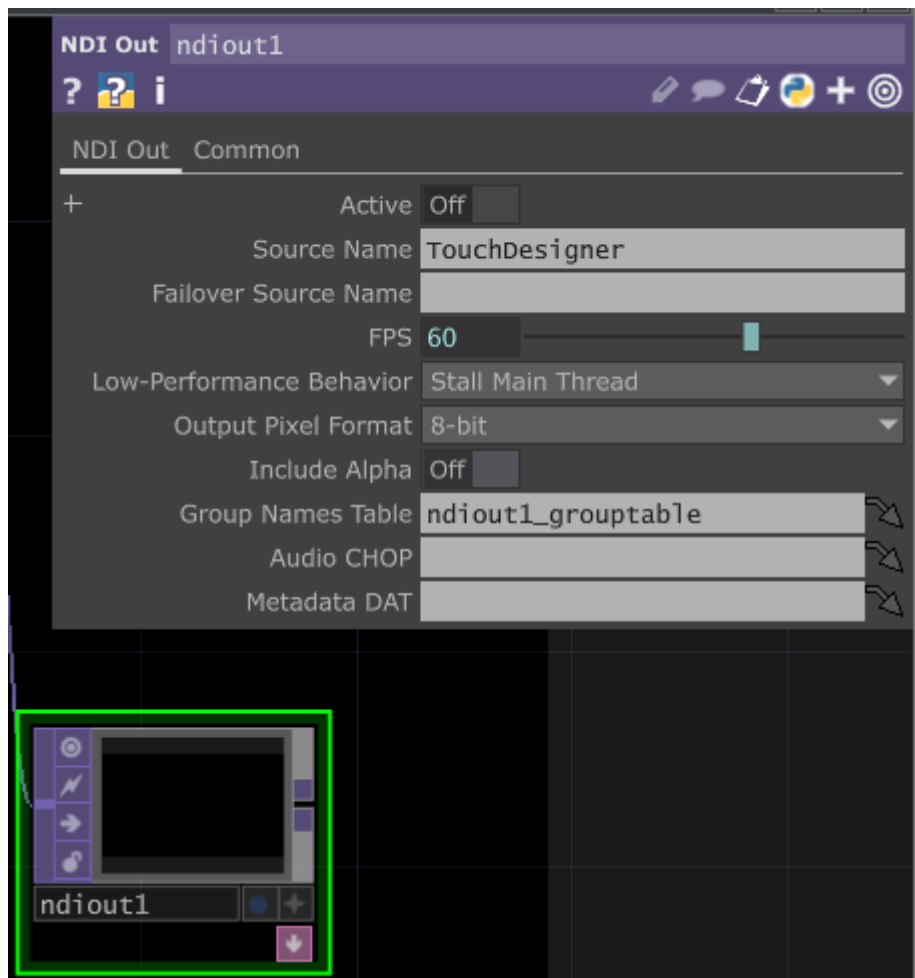
NDI 連携しよう（上級編）

NDI の入出力も用意しています。

NDI 入力は、画面上部アドレスバーから「chEX02」へアクセスし、「ndiin1」モジュールを選択した状態で P キーを押して表示されるオプションの「Source Name」で入力元を指定してください。



NDI 出力は、メイン画面右下の「ndiout1」モジュールを選択した状態で P キーを押下し、「Active」を ON にすると有効化されます。



トラブルシューティング

- ・ 外部ディスプレイに画面が出力されない。

→ 「window1」 のオプション画面上方の「Monitor」 の値を「0」 に変更してみてください。

- ・ MIDI コンが反応しない。

→ 「MIDI Device Mapper」 でアサインしましたか？

FREESIA を起動する前に MIDI コンを先につないでいますか？

- ・ 動画素材を取り込んだら固まった、落ちた。

→ 高解像度すぎるか、対応していないファイル形式です。

出力解像度はデフォルトで 720p なので、素材もフル HD くらいの解像度に

落として取り込むと取り回しがいいと思います。

大体どんなファイル形式でも飲み込みますが、マニアックなファイル形式だと

たまに非対応なこともあるみたいです。

- ・ TouchDesigner 何もわからない。

→ 私もわかりません。一緒に成長しましょう。

- ・ いろいろ試したけどお前の実装の癖が強すぎてわからない。

→ お気軽にお問い合わせください。

X アカウント： @freesia_vj